



幼児教育研修

7月4日(木)、26日(金) 琉球大学 宮城利佳子先生を講師に招き、地区内の幼児教育に携わる先生方を対象とした研修を実施しました。小学校における「やってみたい」「遊び」を軸にした単元構想や、保育の質の向上のための園内研修の在り方など、具体的事例とともに紹介いただきました。



<受講者感想>

- 主体的な遊びについて、設定保育になってしまいがちだったと反省しました。これからは、子どもの主体的な遊びの中で、遊びが広がる環境の工夫を大切にしていきたいと思いました。
- 小学校へ送り出すときに、座れないことが心配でしたが、小学校教育において、幼児教育の学びを生かした授業づくりをしていることにビックリしました。子ども主体の教育・保育を大切にしていきたいです。

プラネタリウム


南部広域行政組合の業務の1つに視聴覚ライブラリーがあります。スピーカーやプロジェクター等を無料で貸出し・配達しています。校内研修で使うスクリーン、園内研修のマイク、避難訓練用DVD等、ぜひご活用下さい。8月はプラネタリウム鑑賞も開催します。一緒に夏の夜空を楽しみましょう。

8/4(日)豊見城市立中央公民館

8/9(金)八重瀬町中央公民館



8月の主な予定

2	金	小中自主参加講座「学級関係づくり」
7	水	学校閉庁～8/9 
13	火	所内検討会
19	月	指導講師検討会～8/23
20	火	幼児教育研修(指導ステージ)
21	水	しののめ教室チャレンジ登校～9/6
29	木	所内検討会(プレゼン)
30	金	ミーティング

本検証授業・研究会

60期研究員の検証授業を実施しました。指導講師の先生にアドバイスをいただきながら研究をすすめ、所内検討を重ねてきました。本検証後は、これまでの研究・実践を考察し、まとめていきます。9月14日の発表には多くの皆様の参加をお待ちしています。

【小学校 SDGs 第6学年】
豊見城市立上田小学校 赤嶺英幸



持続可能な社会作りづくりを担う児童の育成
～ESDの視点で考える
社会科学習指導の工夫を通して～



非認知能力ってなんだろう？

非認知能力とは、知能検査や学力検査では測定できない能力であり、具体的には、やる気、忍耐力、協調性、自制心など、人の心や社会性に関係する力です。

自分を動機づけて高めようとしたり、自分の感情をコントロールしたりしながら、自分と他者を大切にできる非認知能力の育成が、変化の激しい社会のなかで求められています。非認知能力の高い人は「何かをやり抜くねばり強さ」「自分の感情をコントロールする力」「計画をたてて実行する力」など、学ぶ土台が出来上がっており、状況の変化にも対応でき、生き抜く力が強いと言われています。これからの社会を生き抜く子ども達につけたい力です。詳細については、下記のURLまたは、右記のQRコードよりご確認ください。

<https://youtu.be/rVnoAatEouk>

☆非認知能力の育て方☆

- ・子どもが言うことを否定しない
- ・子どもの話を聞いてあげる
- ・子どもに共感する
- ・子どもとの触れ合いを積極的に行う
- ・能力ではなく、努力をほめる
- ・行動を強制しない

